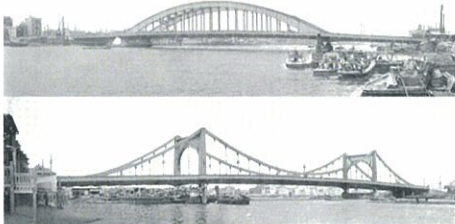


# 土木遺産を訪ねて ～大東京建設の舞台裏～

私たちの東京はどのように建設されたのでしょうか。家康の江戸建設、明治維新後の近代化、関東大震災からの帝都復興を画期に、ゆかりの土木遺産を専門家とめぐります。

## <第1回> 7/12 関東大震災と帝都復興 ～東京の礎をつくる～



『永代橋と清洲橋』(『橋梁設計図集 第二輯』復興局土木部橋)

講師 東京大学工学部社会基盤学科助教 福島秀哉

関東大震災からの復興(帝都復興事業)にあたって、当時の土木エンジニア達はどのような都市を実現しようとしていたのでしょうか。橋梁、街路、公園など、現在も東京の礎となっている帝都復興事業の成果を巡り、当時のエンジニア達の思いに触れます。

【見学ルート】復興橋梁(清洲橋、永代橋)～濱町公園～復興小学校など

## <第2回> 8/9 東京駅と高架鉄道 ～赤煉瓦と赤絨毯～

講師 鉄道総合技術研究所 工学博士 小野田滋

日本で最初の本格的な高架鉄道として完成した東京～浜松町間の赤煉瓦高架橋と、復元工事中の東京駅、その周辺の東京中央郵便局、三菱一号館などを訪ね、明治、大正、昭和の東京の歴史をたどります。

【見学ルート】東京駅丸の内北口～東京駅～行幸通り～中央郵便局～丸ビル～三菱一号館～有楽町付近



## <第3回> 9/13 大江戸八百八町 城下町建設の舞台裏 ～日本橋を歩く～

講師 日本大学工学部准教授 阿部貴弘



『武州豊嶋郡江戸庄園』(東京都立中央図書館東京誌料文庫所蔵)

家康の江戸建設から四百年。その基盤は、21世紀の東京にもしっかりと受け継がれています。八百八町ともいわれた巨大城下町江戸は、はたしてどのように建設されたのか。江戸・東京の中心地、日本橋を舞台に、城下町建設の舞台裏を訪ねます。

【見学ルート】

東京駅日本橋口～道三堀跡～常盤橋～日本橋駿河町～日本橋地下歩道～日本橋室町～日本橋

■日時 7/12、8/9、9/13 第2木曜 10:30～13:00

■受講料 土木学会会員 9,450円 一般 11,340円  
NHK文化センター会員

(※各回1回受講あり 会員 3,990円 一般 4,620円)

お申込お問い合わせは **NHK文化センター青山教室まで 03-3475-1151**

ホームページからお申込の方は

NHKカルチャー 青山

検索

[www.nhkcult.co.jp/school/aoyama/](http://www.nhkcult.co.jp/school/aoyama/)